

Searching PAJ

Page 1 of 2

**PATENT ABSTRACTS OF JAPAN**

(11)Publication number : 10-048516

(43)Date of publication of application : 20.02.1998

(51)Int.Cl.

G02B 13/18

G02B 9/14

(21)Application number : 08-223115

(71)Applicant : HINODE:KK

(22)Date of filing : 06.08.1996

(72)Inventor : DOU SATOSHI

**(54) CCD LENS****(57)Abstract:**

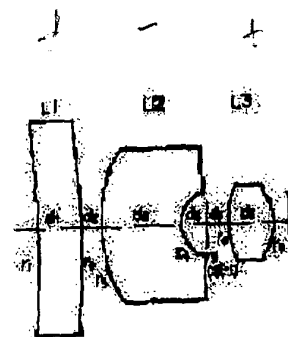
**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a low priced CCD lens of high performance being small in size and light in weight by composing it of a small number of lenses and adopting all plastic spherical lenses or glass spherical lens for a part of the lenses.

**SOLUTION:** This CCD lens is composed of a first lens having a small power, a second lens having a negative power and a third lens having a positive power. This is composed, in order from the object side, of three lenses of the first meniscus and convex lens L1 of a small power, the second negative meniscus lens L2 whose convex surface having an intense curvature confronts the object side and the third positive lens L3 having an intense curvature on the side of an image plane burdening almost all of time positive powers.

As a whole lens groups, at least three aspherical surfaces are adopted and the conditional relations:

$\bar{F1} > 5.0 \times F$ ,  $\nu 3 < 60$ ,  $\nu 5 > 29$ ,  $N3 > 1.49$ ,  $N5 < 1.595$  are satisfied. F, f1: focal distances of the whole lens and the first lens L1, respectively,  $\nu 3$ ,  $\nu 5$ : Abbe numbers of the

second lens and the third lens L2, L3, respectively, N3, N5: refractive indices of the second lens and the third lens L2, L3, respectively.

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

Searching PAJ

Page 2 of 2

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of  
rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(10) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-48516

(43) 公開日 平成10年(1998)2月20日

(51) Int. Cl. <sup>4</sup>	識別記号	片内並列番号	P I	技術表示箇所
G 0 2 B 13/18 9/14			G 0 2 B 13/18 9/14	

請求項 未請求 請求項の数 3 FD (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願平8-223115

(22) 出願日 平成8年(1996)8月6日

(71) 出願人 583024139

株式会社日出

東京都練馬区北町6丁目17番5号

(72) 発明者 池 智

東京都練馬区北町5-17-6 株式会社日

出内

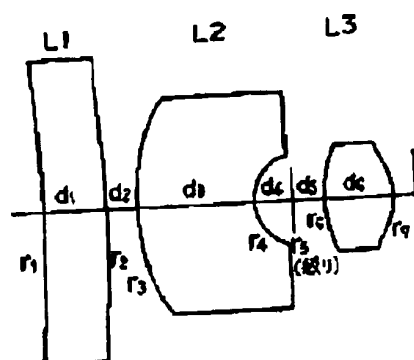
(74) 代理人 弁理士 井ノ口 啓

(54) 発明の名称 CCD用レンズ

(57) 【要約】

【課題】 非球面の効果的配置と材料の最適化により、全てプラスチックで構成することも可能なCCD用、TV等で用いられる小型で低価格なCCD用レンズを提供する。

【解決手段】 物体側より、負または正の弱いパワーを有する第1レンズ(L<sub>1</sub>)、負レンズおよび正レンズの3群3枚のレンズから構成されている。第1レンズ(L<sub>1</sub>)は、両面球面か、少なくとも一方の面が非球面であり、第2レンズ(L<sub>2</sub>)、第3レンズ(L<sub>3</sub>)の少なくとも1つの面が非球面で、合わせて少なくとも3面を非球面とする。これにより、すべてプラスチック材料を使用することも可能である。



(2)

特開平10-48516

1

2

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 小さなパワーを有する第1レンズ、負のパワーを有する第2レンズおよび正のパワーを有する第3レンズとで構成されるCCD用レンズであって、物体側より順にパワーの小さなメニスカスおよび凸状第1レンズ(L<sub>1</sub>)、物体側に強い曲率の凸面を向けたメニスカス状の負の第2レンズ(L<sub>2</sub>)、ならびに正のパワーのほとんどすべてを負担する像面側に強い曲率をもつ正の第3レンズ(L<sub>3</sub>)の計3枚のレンズからなり、第1レンズ(L<sub>1</sub>)は両面球面か、少なくとも1つの面\*10

F : レンズ全体の焦点距離

f<sub>1</sub> : 第1レンズの焦点距離ν<sub>1</sub> : 第2レンズのアッベ数

【請求項2】 前記全てのレンズがプラスチックから構成されたことを特徴とする請求項1記載のCCD用レンズ。

【請求項3】 前記第1レンズおよび第3レンズの少なくとも一方に、球面硝子レンズを採用したことを特徴とする請求項1記載のCCD用レンズ。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、CCD用TVカメラ等に用いられるCCD用レンズ、さらに詳しく言えば、全てのレンズをプラスチックで構成することもできるCCD用レンズに関する。

【0002】

【従来の技術】この種のCCD用レンズとして、最近特に枚数を少なくし、コスト低減を図ったレンズ系が提案されている。しかし、確かに枚数の低減が図られているものの、製造的に無理な硝子の球面レンズや非球面レンズ等が見られ、かえってコストが上昇してしまうレンズや硝子をベースとしたレンズ上にプラスチックの薄い非球面層を形成したハイブリッドレンズ等を使用せざるを得ず、コスト低減化に充分寄与しているとは言えないのが現状である。また、近年種々の進歩が著しいプラスチック材料を積極的に使用したCCD用レンズ系も現れてはいるものの、充分な性能を有しているとは言えず、使用レンズの枚数も多い。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明の目的は、F<sub>0.4</sub>\*40

F : レンズ全体の焦点距離

f<sub>1</sub> : 第1レンズの焦点距離ν<sub>1</sub> : 第2レンズのアッベ数

【0005】

【発明の実施の形態】以下、図面等を参照して本発明の実施の形態を説明する。

(収差補正)収差補正のポイントの主なものは

- ① 第3レンズの発生する負の球面収差を仰ること、
- ② 屈焦点であるため、大きな負の歪曲収差の補正、
- ③ 小型化を図ることにより、非点収差のマイナス傾向

\*が非球面、かつ第2レンズ(L<sub>2</sub>)または第3レンズ(L<sub>3</sub>)のいずれか少なくとも1つの面が非球面で全体として少なくとも3つの非球面を有するレンズ系であって次の各条件式を満たすように構成されたことを特徴とするCCD用レンズ。

$$1/f_1 > 5 \cdot 0 \times F \quad \dots(1)$$

$$\nu_1 < 60 \quad \nu_1 > 29 \quad \dots(2)$$

$$N_1 > 1.49 \quad N_1 < 1.595 \quad \dots(3)$$

ただし

ν<sub>1</sub> : 第3レンズのアッベ数N<sub>1</sub> : 第2レンズの屈折率N<sub>1</sub> : 第3レンズの屈折率

\*2程度の明るさを持ちながら、3枚構成と少ないレンズ枚数で構成され、しかも全てをプラスチック、またはその一部に硝子の球面レンズを採用することにより、安価、小型軽量かつ高性能なCCD用レンズを提供することにある。

【0004】

20 【課題を解決するための手段】前記目的を達成するために、本発明では次のようなレンズ系の構成(図1参照)とする。すなわち、本発明によるCCD用レンズは小さなパワーを有する第1レンズ、負のパワーを有する第2レンズおよび正のパワーを有する第3レンズとで構成されるCCD用カメラのCCD用レンズである。物体側より順にパワーの小さなメニスカスおよび凸状第1レンズ(L<sub>1</sub>)、物体側に強い曲率の凸面を向けたメニスカス状の負の第2レンズ(L<sub>2</sub>)、ならびに正のパワーのほとんど全てを負担する像面側に強い曲率を持つ正の第3レンズ(L<sub>3</sub>)の計3枚のレンズから構成する。そして、レンズ群全体として、少なくとも3つの非球面を採用することにより、前記構成的特徴とを合わせ、球面収差を良好に補正すると共にプラスチックレンズを効果的に使用することを可能にするものである。前記の形状的な特徴に加え、次の構成条件を満たすことが必要となる。

$$1/f_1 > 5 \cdot 0 \times F \quad \dots(1)$$

$$\nu_1 < 60 \quad \nu_1 > 29 \quad \dots(2)$$

$$N_1 > 1.49 \quad N_1 < 1.595 \quad \dots(3)$$

ただし

ν<sub>1</sub> : 第3レンズのアッベ数N<sub>1</sub> : 第2レンズの屈折率N<sub>1</sub> : 第3レンズの屈折率

を補正する等が上げられる。

【0006】本発明では、ほとんどのパワーを絞りに近い部分に集中させている。第3レンズ(L<sub>3</sub>)が発生する負の球面収差は第3レンズ(L<sub>3</sub>)の像側の凸面の一部補正し、その足りない部分を第2レンズのいずれか、もしくは両面に非球面を導入することにより、効果的に球面収差を補正している。そのため、第1レンズ

(3)

特開平1(1)-48518

3

4

(L<sub>1</sub>)には、式(1)で示された弱いパワーのみをもたせ、全体の中でパワーが分散し、収差補正を複雑にすることを避けている。つぎに、短焦点のために歪曲が食になる収差を補正するために、第2レンズの凸面と第3レンズ(L<sub>3</sub>)のいずれかの面に非球面を導入している。第2レンズ(L<sub>2</sub>)と第3レンズ(L<sub>3</sub>)のいずれかまたは両面に非球面を加えて採用することにより像面湾曲と焦点収差の補正を行っている。第1レンズ(L<sub>1</sub>)は、両面球面とし安価な硝子を採用することにより、マルチコート等、プラスチックにはコートのできないものも採用できるように構成され、これによってコントラストをより良くできるようにしている。

[0007] (レンズ材料) 次にこのような構成を実現するための、レンズ材料について述べる。まず、第1レンズ(L<sub>1</sub>)は、比較的自由にその材料を選択することができる。第1レンズ(L<sub>1</sub>)を両面球面とし、プラスチックでは採用できないコーティングをすることにより、コントラストの良いレンズを実現できる。また、そのパワーがほとんど無いことから、機械的なプラスチック材料の採用が可能である。第2レンズ(L<sub>2</sub>)は色補正およびベッツハール和の観点から、比較的高屈折率、高分散の材料を使用する必要がある。これには硝子材料以外にポリカーボネート(PC)やポリスチレン(PS)等のプラスチック材料を用いることができる。しかし、第2レンズ(L<sub>2</sub>)と第3レンズ(L<sub>3</sub>)のパワーの調整やそれによる非球面の導入により、アクリル(PMMA)も使用可能となる。

[0008] 第3レンズ(L<sub>3</sub>)は、同じ理由により、低屈折率低分散の材料を用いることが可能である。第3レンズ(L<sub>3</sub>)には、硝子以外にアクリル(PMMA)を採用することが可能である。以上のような理由により、用いる材料を適切に配置することで、全てプラスチック材料を用いた、光学系を構成することも可能である。

$$2 = ch^2 / \{ 1 + \{ 1 - (1+k) c^2 h^2 \}^{1/2} \}$$

$$+ Ah^4 + Bh^6 + Ch^8 + Dh^{10} + \dots + Hh^{18}$$

ただし、

z: 面頂点に対する横平面からの高さ

c: 面の近軸的曲率

h: 光軸からの高さ

k: 円錐定数

A: 4次の非球面係数

B: 6次の非球面係数

C: 8次の非球面係数

D: 10次の非球面係数

＊も、もちろん、球面ガラスや非球面ガラスを用いることにより、性能の向上や材料選択の幅が広がる。

[0009]

[実施例] 以下、実施例について詳細に説明する。図1は、本発明によるCCD用レンズの構成図である。表1から表4に第1～第4の実施例の構成データを示す。図2～図5は、表1～4の実施例のデータにより構成されたレンズの断面図である。表5から表8に第1～第4の実施例の収差データを示す。図6(a)～(d)は表5～表8の収差データによる収差図である。なお、各表は発明の詳細な説明の末尾に記載されている。

[0010] 各実施例において面番号は物体側から順に数えられた各レンズ等の対応する面番号を示す。この面番号を1とすると各図および表において、r<sub>i</sub>はi面の曲率半径；非球面においては軸上曲率半径を示す。d<sub>i</sub>はi面からi+1面までの屈折率；n<sub>i</sub>はd<sub>i</sub>に存在する媒質の屈折率；ν<sub>i</sub>はd<sub>i</sub>に存在する媒質の分散；をそれぞれ示す。

[0011] 非球面データは、表1～表4の一番下の欄に面番号とともに示した、面番号5は絞り面に対応しており、曲率半径0は、曲率半径無限であることを示している。屈折率は、d線(587.56nm)における屈折率を、分散はアッペ数を示す。非球面係数は下記数式に示される各係数の値を示している。なお、図6(a)～(d)の収差図において、SAは球面収差を示し、1はd線(587.56nm)、2はg線(435.84nm)、3はc線(656.27nm)の波長の場合である。OSCは色収差であるが、この図には表されていない。ASTは非点収差を、DISTは歪曲収差をそれぞれ示す。

[0012] 本発明で用いられる非球面は次の式で与えられる。

[式1]

$$2 = ch^2 / \{ 1 + \{ 1 - (1+k) c^2 h^2 \}^{1/2} \}$$

$$+ Ah^4 + Bh^6 + Ch^8 + Dh^{10} + \dots + Hh^{18}$$

この明細書中の各表において、非球面係数を示す数値の表示において、(e-00)の表示は10の-00乗を示すものである。

[0013] 以下に、各実施例の特徴を示す。表1に示す

第1レンズ(L<sub>1</sub>)の材質はPMMA 焦点距離 f<sub>1</sub> = -119.78

E: 12次の非球面係数

F: 14次の非球面係数

G: 16次の非球面係数

H: 18次の非球面係数

＊す構成データを持ち、図2に示す実施例1は、全ての材料がアクリル(PMMA)を採用している。第2レンズ(L<sub>2</sub>)の両面、第3レンズ(L<sub>3</sub>)の両面は非球面である。

(4)

特開平10-48616

5

6

第2レンズ(L<sub>2</sub>)の材質はPMMA 焦点距離 f<sub>2</sub> = -5.53第3レンズ(L<sub>3</sub>)の材質はPMMA 焦点距離 f<sub>3</sub> = 3.34

なお、PMMAはアクリル樹脂である。

\*用いた例である。第2レンズ(L<sub>2</sub>)の両面、第3レンズ(L<sub>3</sub>)の両面は非球面である。

【0014】図2に示す構成データを持ち、図3に示す

実施例2は、第1レンズ(L<sub>1</sub>)に非球面レンズを採\*第1レンズ(L<sub>1</sub>)の材質はBK7 焦点距離 f<sub>1</sub> = -299.37第2レンズ(L<sub>2</sub>)の材質はPMMA 焦点距離 f<sub>2</sub> = -5.62第3レンズ(L<sub>3</sub>)の材質はPMMA 焦点距離 f<sub>3</sub> = 3.44

なお、BK7は光学ガラスである。

※(L<sub>1</sub>)に採用したものである。第2レンズ(L<sub>2</sub>)の両面、第3レンズ(L<sub>3</sub>)の両面は非球面である。

【0015】実施例3(図4 表3参照)は、全てをブラスチックレンズとし、ポリカーボネートを第2レンズ※

第1レンズ(L<sub>1</sub>)の材質はPMMA 焦点距離 f<sub>1</sub> = -448.49第2レンズ(L<sub>2</sub>)の材質はPC 焦点距離 f<sub>2</sub> = -5.37第3レンズ(L<sub>3</sub>)の材質はPMMA 焦点距離 f<sub>3</sub> = 3.41

なお、PCはポリカーボネート樹脂である。

★ラスチックレンズとし、ポリカーボネートを第3レンズ(L<sub>3</sub>)に採用したものである。

【0016】実施例4(図5 表4参照)は、全てをブ

第1レンズ(L<sub>1</sub>)の材質はPMMA 焦点距離 f<sub>1</sub> = 63.02第2レンズ(L<sub>2</sub>)の材質はPMMA 焦点距離 f<sub>2</sub> = -4.75第3レンズ(L<sub>3</sub>)の材質はPC 焦点距離 f<sub>3</sub> = 3.46

【0017】

20☆を可能にし、小型で高性能かつ安価・軽量のCCD用レンズを実現することができる。

【発明の効果】以上、説明したように本発明は3群3枚と少ない構成ながらブラスチックレンズの積極的な使用☆

【表1】

構成データ (実施例1)

曲率半径 (r <sub>i</sub> )	厚み (d <sub>i</sub> )	屈折率 (n <sub>i</sub> )	アッベ数 (ν <sub>i</sub> )
r <sub>1</sub> = -18.886	d <sub>1</sub> = 2.000	n <sub>1</sub> = 1.491	ν <sub>1</sub> = 57.8
r <sub>2</sub> = -31.040	d <sub>2</sub> = 1.000	n <sub>2</sub> = 1.480	
r <sub>3</sub> = 6.955	d <sub>3</sub> = 3.650	n <sub>3</sub> = 1.481	ν <sub>3</sub> = 57.6
r <sub>4</sub> = 1.815	d <sub>4</sub> = 0.280	n <sub>4</sub> = 1.480	
r <sub>5</sub> = 0.040	d <sub>5</sub> = 1.000	n <sub>5</sub> = 1.480	
r <sub>6</sub> = 5.087	d <sub>6</sub> = 2.150	n <sub>6</sub> = 1.491	ν <sub>6</sub> = 57.8
r <sub>7</sub> = -2.087		n <sub>7</sub> = 1.480	

近軸データ

合成焦点距離	1.799
f <sub>no</sub> (開口数)	2.2

非球面係数

r <sub>1</sub> K=-0.25167e+1 Q=0.000	A=0.23025e-2	B=-0.22757e-1	C=-0.16127e-5
r <sub>2</sub> K=0.44545 Q=0.40108e-2	A=0.29719e-1	B=0.38231e-2	C=-0.2188e-2
r <sub>3</sub> K=-0.34482e+1 Q=0.44718e-3	A=0.19185e-2	B=0.63271e-2	C=-0.18431e-2
r <sub>4</sub> K=-0.64598 Q=0.51929e-3	A=0.80855e-2	B=0.43929e-2	C=-0.15793e-2

【表2】

50

(5)				特開平10-48516
7	歯車データ (実施例2)			8
歯車半径 (r <sub>i</sub> )	距離 (d <sub>i</sub> )	屈折率 (n <sub>i</sub> )	アッベ数 (ν <sub>i</sub> )	
r <sub>1</sub> = -20.020	d <sub>1</sub> = 2.000	n <sub>1</sub> = 1.5153	ν <sub>1</sub> = 84.2	
r <sub>2</sub> = -54.758	d <sub>2</sub> = 1.000	n <sub>2</sub> = 1.000		
r <sub>3</sub> = 11.854	d <sub>3</sub> = 3.650	n <sub>3</sub> = 1.491	ν <sub>3</sub> = 57.8	
r <sub>4</sub> = 2.000	d <sub>4</sub> = 0.200	n <sub>4</sub> = 1.000		
r <sub>5</sub> = 0.000	d <sub>5</sub> = 1.000	n <sub>5</sub> = 1.000		
r <sub>6</sub> = 5.801	d <sub>6</sub> = 2.150	n <sub>6</sub> = 1.491	ν <sub>6</sub> = 57.8	
r <sub>7</sub> = -2.116		n <sub>7</sub> = 1.000		
近軸データ				
合成像の距離	1.800			
F <sub>数</sub> (開口数)	2.2			
非線形係数				
r <sub>1</sub> K= 0.68089e+1 D= 0.2368e-7	A=0.17384e-2	B=-0.40166e-5	C=-0.92565e-8	
r <sub>2</sub> K= 0.28157 D= 0.48908e-2	A=0.15188e-1	B=0.18178e-2	C=-0.16734e-3	
r <sub>3</sub> K=-0.22235e+1 D= 0.26358e-3	A=0.68858e-4	B=0.48918e-2	C=-0.17027e-2	
r <sub>4</sub> K=-0.70513 D= 0.40011e-3	A=0.67821e-2	B=0.78424e-2	C=-0.20589e-2	

〔表3〕

(6)				特開平10-48516
9	データ (実施例3)			10
座標半径 ( $r_i$ )	距離 ( $d_i$ )	座標半 ( $n_i$ )	チャネル ( $\nu_i$ )	
$r_1 = -40.984$	$d_1 = 2.000$	$n_1 = 1.481$	$\nu_1 = 57.8$	
$r_2 = -51.168$	$d_2 = 1.000$	$n_2 = 1.000$		
$r_3 = 11.904$	$d_3 = 3.850$	$n_3 = 1.883$	$\nu_3 = 30.0$	
$r_4 = 2.280$	$d_4 = 0.2$	$n_4 = 1.000$		
$r_5 = 0.000$	$d_5 = 1.000$	$n_5 = 1.000$		
$r_6 = 5.282$	$d_6 = 2.150$	$n_6 = 1.491$	$\nu_6 = 57.8$	
$r_7 = -2.189$		$n_7 = 1.000$		
近接データ				
合計座標距離	3.800			
F <sub>max</sub> (開口数)	2.2			
パラメータ				
$c_0$ $K=0.58132$	$A=0.19500e-2$	$B=0.64107e-5$	$C=0.5572e-4$	
$D=0.80744e-7$				
$r_0$ $K=0.21637$	$A=0.11000e-1$	$B=0.11411e-2$	$C=0.5938e-2$	
$D=0.14061e-2$				
$r_1$ $K=-0.97876e+1$	$A=-0.30324e-2$	$B=0.92292e-2$	$C=-0.18866e-2$	
$D=-0.45106e-3$				
$r_2$ $K=-0.69314$	$A=0.87337e-2$	$B=0.33379e-2$	$C=-0.23834e-2$	
$D=0.55163e-3$				

【表4】



(7)				特開平10-48516
11	測定データ (実施例4)			12
曲率半径 (r <sub>i</sub> )	距離 (d <sub>i</sub> )	屈折率 (n <sub>i</sub> )	アッベ数 (ν <sub>i</sub> )	
r <sub>1</sub> = -578.374	d <sub>1</sub> = 2.000	n <sub>1</sub> = 1.491	ν <sub>1</sub> = 57.8	
r <sub>2</sub> = -23.403	d <sub>2</sub> = 1.000	n <sub>2</sub> = 1.000		
r <sub>3</sub> = 231.183	d <sub>3</sub> = 3.630	n <sub>3</sub> = 1.491	ν <sub>3</sub> = 57.8	
r <sub>4</sub> = 2.298	d <sub>4</sub> = 0.2	n <sub>4</sub> = 1.000		
r <sub>5</sub> = 0.000	d <sub>5</sub> = 1.000	n <sub>5</sub> = 1.000		
r <sub>6</sub> = 5.762	d <sub>6</sub> = 2.150	n <sub>6</sub> = 1.583	ν <sub>6</sub> = 30.8	
r <sub>7</sub> = -2.532		n <sub>7</sub> = 1.000		
近軸データ				
合成波長距離				3.602
F <sub>02</sub> (開口数)				2.2
非球面係数				
1. K = 0.86445e+4 B = -0.61454e-5	A = 0.2151e-2	B = -0.54221e-3	C = 0.94273e-4	
2. K = 0.44384 B = -0.43217e-2	A = 0.90106e-2	B = 0.15253e-1	C = 0.33292e-2	
3. K = -0.37642e+2 B = -0.36289e-3	A = -0.51168e-3	B = 0.43804e-2	C = -0.56151e-3	
4. K = -0.40653 B = 0.57854e-3	A = 0.30784e-2	B = 0.36484e-2	C = 0.23363e-2	

[表5]

(8)				特開平10-48516
13				14
(實施例1)	1/4 CCD ALL=PMMA			
field 1	. 0 0 H	x, y =	.000000	.000000
	ast (a	(	dist (%)	
	.000000	.000000	.000000	
	da			
1 H	-.011788	-.252648	.060912	
0.85 H	-.002352	-.201151	.047298	
0.7 H	.001493	-.172281	.045000	
0.5 H	.001447	-.152918	.040050	
0.3 H	-.000182	-.143895	.035824	
field 2	. 0 0 H	x, y =	.000000	1.319422
	ast (a	(	dist (%)	
	-.021576	.014741	.760064	
field 3	. 7 0 H	x, y =	.000000	1.373711
	ast (a	(	dist (%)	
	-.032354	.021757	.912670	
field 4	. 8 0 H	x, y =	.000000	1.799993
	ast (a	(	dist (%)	
	-.028198	.033306	.906745	
field 5	1. 0 0 H	x, y =	.000000	2.249928
	ast (a	(	dist (%)	
	-.043357	.107048	-.108618	

【表6】

(5)				特研平 10-48516
15				16
(表例 2) 1/4 CCD L1=BK7				
field	. 0 0 H	x. y =	. 000000	. 000000
	ast (s	t )	dlat (°)	
	. 000000	. 000000	. 000000	
		68		
1 H	. 015098	. 219935	. 035813	
0. 85 H	. 027040	. 151065	. 071582	
0. 7 H	. 038187	. 124220	. 078245	
0. 5 H	. 018765	. 126763	. 055117	
0. 3 H	. 004744	. 132444	. 089018	
field 2	. 6 0 H	x. y =	. 000000	1. 36654
	ast (s	t )	dlat (°)	
	. 022224	. 172710	. 128872	
field 3	. 7 0 H	x. y =	. 000000	1. 574168
	ast (s	t )	dlat (°)	
	. 024583	. 179185	. 830042	
field 4	. 8 0 H	x. y =	. 000000	1. 798386
	ast (s	t )	dlat (°)	
	. 030795	. 138183	. 327674	
field 5	1. 0 0 H	x. y =	. 000000	2. 249927
	ast (s	t )	dlat (°)	
	. 017612	. 180834	. 288040	

[表 7]

(10)		特開平10-48516	
17	18		
(実施例 3)	1/4 CCD L2-PC		
field 1	. 0 0 H x, y = .00000 .00000		
	ant (s t ) dist (°)		
	.00000 .00000 .00000		
	da		
1 H	.051743 -.060144 .080743		
0. 8 5 H	-.039389 -.102291 -.007279		
0. 7 H	.049810 -.063951 .072843		
0. 5 H	.064935 -.028743 .069082		
0. 2 H	.031123 -.058086 .054540		
field 2	. 0 0 H x, y = .00000 1.349589		
	ant (s t ) dist (°)		
	.018118 .158854 .033531		
field 3	. 7 0 H x, y = .00000 1.573988		
	ant (s t ) dist (°)		
	.014962 .165778 .063921		
field 4	. 8 0 H x, y = .00000 1.722403		
	ant (s t ) dist (°)		
	.008095 .063344 .117370		
field 5	1. 0 0 H x, y = .00000 2.242896		
	ant (s t ) dist (°)		
	-.046349 -.244313 .051930		

【表 8】

(11)

特開平10-48516

19

20

【実施例4】

1/4 CCD LB=PC

field 1	. 00 H	x, y =	.000000	.000000
	ast (u	t )	dist (°)	
	.000000	.000000	.000000	
		ds		
0. 8 H	.102346	-.206846	.263154	
0. 85 H	-.035108	-.421773	.956081	
0. 7 H	-.002674	-.861507	.982962	
0. 5 H	.010131	-.925137	.986819	
0. 3 H	.003223	-.817894	.976522	
field 2	. 60 H	x, y =	.000000	L 349997
	ast (u	t )	dist (°)	
	-.064449	.010391	-2.179828	
field 3	. 70 H	x, y =	.000000	L 574988
	ast (u	t )	dist (°)	
	-.070320	.037681	-3.086513	
field 4	. 80 H	x, y =	.000000	L 799955
	ast (u	t )	dist (°)	
	-.079766	-.001787	-3.978396	
field 5	1. 00 H	x, y =	.000000	L 249991
	ast (u	t )	dist (°)	
	-.111050	.182810	-5.772234	

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明によるCCD用レンズの構成図である。

【図2】実施例1のときのレンズの断面図である。

【図3】実施例2のときのレンズの断面図である。

【図4】実施例3のときのレンズの断面図である。

【図5】実施例4のときのレンズの断面図である。

\* 【図6】実施例1～4までの収差図である。

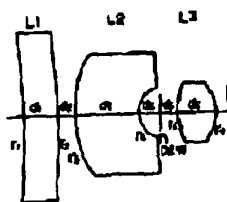
【符号の説明】

L<sub>1</sub>～L<sub>3</sub> 第1～第3のレンズd<sub>1</sub> 間隔30 n<sub>1</sub> 屈折率\* ν<sub>1</sub> 分散（アッペ数）

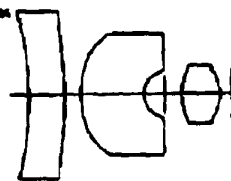
【図1】

【図2】

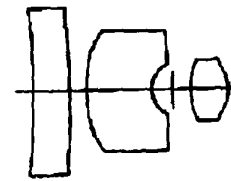
【図3】



1/4 CCD ALL-PHASE



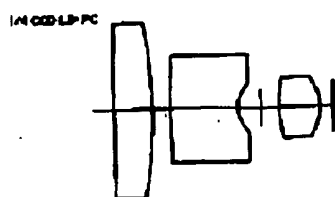
1/4 CCD L1=INT



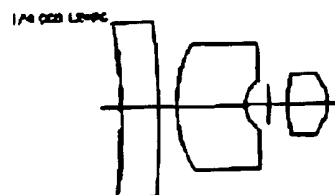
(12)

特開平10-48516

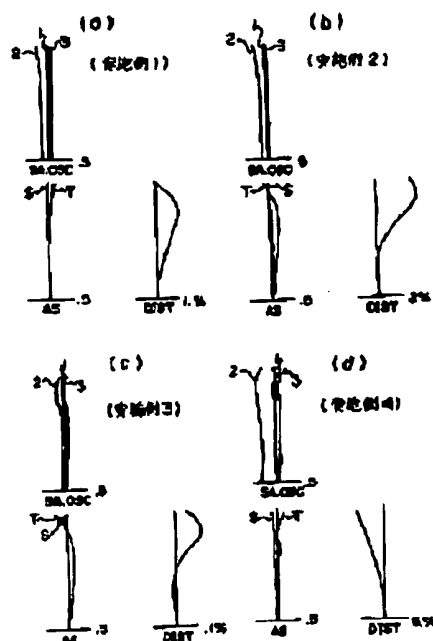
【図4】



【図5】



【図6】



## 【手続補正書】

【提出日】平成8年11月8日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

## \*【補正内容】

【0012】本発明で使用される非球面は次の式で与えられる。

【数1】

$$Z = \frac{ch^2}{1 + \{1 - (1+k)c^2h^2\}^{1/2}} + Ah^4 + Bh^6 + Ch^8 + Dh^{10} + \dots + Hh^{16}$$

ただし、

z: 面頂点に対する接平面からの深さ

c: 面の近軸的曲率

h: 光軸からの高さ

(13)

特開平10-48616

K: 円柱定数  
A: 4次の非球面係数  
B: 6次の非球面係数  
C: 8次の非球面係数  
D: 10次の非球面係数  
E: 12次の非球面係数  
F: 14次の非球面係数  
G: 16次の非球面係数  
H: 18次の非球面係数

この明細書中の各表において、非球面係数を示す数値の表示において、(e-〇〇)の表示は10の-〇〇乗を示すものである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】符号の説明

【補正方法】変更

【補正内容】

【符号の説明】

L<sub>1</sub>、～L<sub>3</sub> 第1～第3のレンズ

d<sub>i</sub> 間隔

n<sub>i</sub> 屈折率

ν<sub>i</sub> 分散(アッベ数)